

**令和5年度 交通と健康モニタリング調査
とほ活アプリ改修**

与件

- 公共交通の活性化をはじめとする、コンパクトシティ施策の効果検証及び新たな施策立案の基礎データの取得
- 徒歩・公共交通での中心市街地への来訪に対するインセンティブの提供
- 健康・ウェルビーイングに関する指標の取得
- 中心市街地での利用機会増加

富山市中心市街地を利用することが「幸せ」につながる未来を目指して



コンパクトシティの効果の検証を継続する健康指標や社会関連資本指標データの可視化

A.健康状態の指標化

A-1.幸福度調査

富山大学の協力のもと公共交通と絡めた幸福度を調査するアンケートを実施。
健康指標や社会関連資本指標も取得し、コンパクトシティの効果を定期的に分析、経年変化を確認していきます。

A-2.体重の入力

体重入力項目の追加を行います。
手入力の他、Appleヘルスケア、Google Fitからの連携も行います。
体重入力時のポイントインセンティブも検討。
入力は毎日可能とし、値の正確性よりとほ活起動のきっかけとなることを重視。

A-3.健康診断情報の入力

健康診断の情報の入力を可能にします。入力時のポイントインセンティブも検討。

取得項目案

身長／体重／腹囲／血糖値／血圧／コレステロール値／視力（裸眼）

B.追加調査協力者用広報機能改修①

B-1.情報発信機能強化

アプリのお知らせ機能にPush通知機能を追加。

B-2.起動時当月平均歩数の表示

とほ活起動時に前月の平均歩数と当月の平均歩数の差を表示し、現状を把握、以降の行動変容を促します。
※「前月比較歩数-100歩、+100歩」のような常時表記を「とほすけ」の下に表示する。

B-3.ユーザー登録項目の変更

現在の年代登録を生年登録に変更。

その他、性別や郵便番号の入力に対してポイントの付与等インセンティブも実施

B-4.とほ活Web 過去の調査結果公表ページ作成

とほ活Webサイトに過去の調査結果公表ページを作成。

C.追加調査協力者用広報機能改修②

C-1. 居住地域による中心市街地来訪時のインセンティブ追加

居住地域（郵便番号） + 規定歩数 + 中心市街地チェックインでインセンティブの付与



D.次年度調査案

D-1 富山市民幸福度調査

アンケート名：Ed Dienerによる人生満足尺度（SWLS）7項目 ※将来的に他都市と比較可能な質問紙を選定

幸せの4因子アンケート一般向け 16項目

実施時期：2024年11～12月（健康診断の受診が終わる時期）

対象：とほ活ユーザー／非とほ活ユーザー

対象人数：1,000人以上

取得属性：

- ①中心市街地在住／非在住（居住地域）
- ②駅・バス停と自宅距離（居住地域）
- ③とほ活アプリ ユーザー／非ユーザー
- ④中心的な移動手段（公共交通機関 or 車）
- ⑤健康診断項目および歩数

調査方法：

- ・とほ活アプリでのアンケート実施

募集手段

- ・アプリのお知らせ／Webサイト／イベント／広報誌（広報とやま）